

海岸防災林植樹祭（グリーンウェイブ2015参加植樹祭）を開催

（公社）福島県森林・林業・緑化協会



記念撮影

平成27年5月30日（土）、いわき市平下神谷地区の国有林で海岸防災林再生の植樹祭を開催しました。

海岸林は、土地や人々の暮らしを守る防災林としての働きや保健・保養の場としての働きに加え、生物多様性保全、CO²固定などの環境を保全するための働きがあります。当協会では、植樹活動を通じて海岸防災林が有している機能を広く理解していただくため、生物多様性条約事務局が生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため広く呼びかけているグリーンウェイブ2015に参加を登録するとともに、県内外の森林ボランティア団体に広く植樹活動を呼びかけました。



主催者あいさつ



植樹活動開始



植穴づくり



苗木の植付

植樹祭には、県内から7団体、県外から2団体、合わせて9団体約80名が参加し、約1,000㎡の林地に松食い虫に抵抗性かあって取り扱いやすいクロマツのコンテナ苗500本を植樹しました。参加者は、世界中の皆さんと一緒に「生物多様性」について改めて認識するとともに、東日本大震災で甚大な被害を受けた海岸クロマツ林の1日も早い復旧を願い、10年後、20年後さらには100年後のクロマツ林の姿を目に浮かべながら、1本1本心を込めて丁寧に植樹していました。

※グリーンウェイブとは、国連が定める国際生物多様性の日（5月22日）前後に、世界各地の学校や地域で植樹などを行うことにより、この活動が地球上の東から西へ波のように広がっていく様子を、「緑の波（グリーンウェイブ）」と表現しています。